



先月のめだかくらぶ

1月のお楽しみプログラムのテーマは「発達に合った絵本・おもちゃ選び」でした。近くで保育士がお子さんをみさせていただき、「絵本とおもちゃ」についてのお話をゆつくり聞いていただくことができました。最後には1月生まれのお子さんの誕生日をみんなでお祝いしました。

めだかくらぶ

文責 端 晶子



今月のお楽しみプログラム

2月14日(金)

10:00~11:30

『手づくりおもちゃをつくろう』

です。

保育あり(ゆつくりおもちゃ作りができるように、近くでお子さんを保育いたします。)

予約は必要ありません。

※2月のふれあいランチは定員いっぱいになりました。来月は3月4日(火)です。予約は2月4日からできます。(先着3名、1食250円)

お申込み・予約は 練馬区立豊玉保育園 03-3991-4484

子どもに伝えたいこと

私たち豊玉保育園では、昔から伝わる伝統的な行事を年中行事として保育の中で大切に伝えています。近年ますます省略化されたり、忘れられがちだと感じますが、節分、ひなまつり、七夕、十五夜などの年中行事には「自然の恵みや先祖に感謝」「周囲の人々との繋がりを深める」「行事食を食べて健康を願う」などといった意味があります。昔の人々からの言い伝えにはとても意味があることが多いものです。私たち大人が責任をもって伝えていきたいですね。子どもたちには年齢ごとにわかりやすく伝えています。

2月は「節分(豆まき)」のイメージが強いですが、他にも「立春」や「春一番」など季節を感じる年中行事などが多いです。

節分



節分は文字通り「四季が移り変わる節目」という意味で、もともと立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分として、季節の変わり目に生じる邪気(鬼)を取り払うための行事でした。特に立春は一年の始まりとして重視され、いつしか節分も立春の前日に豆まきをして邪気を追い払う行事として庶民に定着しました。

立春は二十四節気の一つで、冬の終わりと春の始まりを告げる重要な日です。立春という言葉自体は、春を意味する「春」と、立つことを意味する「立」が組み合わさっており、春の到来を強調しています。二十四節気はもともと中国から伝わったものなので、日本の気候からは1カ月くらいずれていて、まだまだ寒い氣がしますが、それでも暦の上では春が始まるをされています。

立春

春一番

「立春」から「春分」の間に、初めて吹き付ける南からの強風の事をいいます。風速8メートル以上の風が吹き、前日より気温が上がった時に「春一番」と言います。元来は漁師が風を表す言葉の一つとして使っていました。

季節の花



梅



福寿草



沈丁花



水仙

2月の花と言えば、水仙、福寿草、沈丁花などありますが、梅も代表的です。梅が咲くと次に桃、そして桜と続き、徐々に暖くなる感じですね。春を待ちながら梅を愛するのはいかがでしょうか?

段飾りのお雛様を見ませんか?



豊玉保育園では、2月の上旬に7段飾りのお雛様を飾ります。ぜひ見に来てください。

向山庭園の日本庭園は無料で見学ができます。ロビーには例年2月初旬に段飾りのお雛様が飾られ、他にも年代のお雛様も見られるそうです。西武豊島線の豊島園駅から徒歩3分、都営大江戸線の豊島園駅から徒歩5分ほどのところにあります。お散歩がてら出かけてみるのはいかがでしょうか。

